

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	西洋経済史Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	前期の「西洋経済史Ⅰ」を踏まえ、18世紀後半の産業革命から20世紀前半の後発工業化に至るグローバル経済史を概観します。グローバル経済史ではR・C・アレンの『世界史の中の産業革命』が発表されて以来現在まで、「なぜイギリスが最初に工業化を遂げたのか」が問題となっています。その中では産業革命以前のイギリスの社会経済的な前提条件が重要であったこと、また産業革命の技術的方向性の特徴などが指摘されています。そこでイギリス史から始まり、北米、大陸ヨーロッパ、日本やアフリカなど様々な地域の工業化事例を辿りながら、「工業化はなぜ起きるのか」をめぐる経済史の理論を学びます。 なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に「経済学、経営学に関する専門知識や技能のみならず、幅広く深い教養を身につけ学際的視野を備えていること」というディプロマ・ポリシーに資する科目です。		
到達目標	・「工業化」、「自由貿易」、「後発工業化」などのキーワードを使いながら、現在の西洋経済史がどのように見直されているのかを世界史的な観点で論じられるようにします。 ・経済史と関係のある技術史、科学史、開発経済学から見た産業革命を同時に学ぶことで、超領域的な学術テーマとしての「工業化」という問題への理解を深めます。 ・授業後にTeamsにおけるClass Notebookのアプリを使った復習をすることにより、表やグラフを読み取り、その気づきを文章化する習慣を身につけていきます。		
授業内容 授業形態 ※	01_逆転の時代ー世界史のなかの産業革命 02_産業革命の諸要因ー消費と農村 03_産業革命を計測せよー地域の豊かさはどう測れるのか 04_実験するヨーロッパー価格革命・農業革命・消費革命 05_プロト工業化の時代ー「われら失いし世界」 06_低価格エネルギー経済 07_イギリスの産業革命ーなぜそれはフランスではなかったのか 08_熟練・訓練・労働市場 09_大陸ヨーロッパ国境地域の工業化(1)ー国境・市場・技術移転 10_大陸ヨーロッパ国境地域の工業化(2)ーキャッチアップ理論 11_地域経済と工業化 12_新世界へー海底ケーブルと情報覇権 13_モデルの反転(1)ー東アジアの経験をめぐる解釈 14_モデルの反転(2)ー労働集約型工業化 15_安価な労働力の解剖ー「強み」をめぐる二つの解釈		
評価方法 ※	・中間・期末でオンラインでのレポート試験を実施します。 - テスト結果はForm機能を使って返却し、必要に応じて授業内で解説します。 ・毎回授業後課題点（6点×10回＝60％）＋中間テスト（20％）＋期末テスト(20％)の総合点。		
評価基準			
テキスト	R・C・アレン（2017）『世界史の中の産業革命』名古屋大学出版会。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	経営管理論Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	未定
学修分野			
授業目的 ※	経営管理論とは、組織の管理運営の方法について考える学問です。本授業では、経営学の基礎的な知識からさらに一步踏み込んで、経営管理（マネジメント）の理論を体系的に学びます。経営管理の理論を学ぶにあたり、単なる理論の紹介に終わることなく、現代企業の経営にどのように活かされているのかという点も考慮しながら進めていきます。 好むと好まざるとにかかわらず、現在の経済社会は企業に大きく依存しており、皆さんの生活は企業の提供する多様な製品・サービスによって支えられています。社会現象の背景には、数多くの企業という組織体関わっているのです。経営管理で学ぶことがらは、組織に関わるあらゆる人にとって、社会を理解するための基礎的な知識となるでしょう。 経営管理Ⅱでは、経営管理論Ⅰで学んだ内容を基本としながら、組織を取り巻く外部環境に着目し、それをいかに管理するのかを中心に学習していきます。 この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に【経営学に関する専門知識・思考力、学修目標1】に資する科目です。		
到達目標	・経営管理に関連する様々な考え方を理解すること。 ・各テーマの重要なポイントを理解し、簡潔に説明できるようになること。 ・経営管理に対する自らの考えを深め、他者に伝えられるようになること。		
授業内容 授業形態 ※	第01回 経営管理論Ⅱの概要（経営管理と外部環境） 第02回 経営組織の環境適応 第03回 経営戦略Ⅰ（企業戦略のマネジメント） 第04回 経営戦略Ⅱ（競争戦略のマネジメント） 第05回 人的資源管理Ⅰ（人的資源管理論と人材育成・活用） 第06回 人的資源管理Ⅱ（人的資源管理の国際化） 第07回 企業の国際化と経営管理（海外進出と組織形態） 第08回 組織間関係のマネジメント（M&Aや戦略的提携） 第09回 生産管理（モノづくりのマネジメント） 第10回 マーケティングのマネジメント 第11回 研究開発のマネジメント 第12回 イノベーションのマネジメント 第13回 情報技術の発展と企業経営 第14回 企業の社会的責任 第15回 経営管理論のこれから		
評価方法 ※	・授業への貢献度・授業内レポート・少テストなど「平常点：40点」と「期末試験：60点」の合計によって評価します。 ・授業内レポートに対しては、授業内で全体に対するフィードバックを行います。（履修者が少数であれば個別にフィードバックする予定です）		
評価基準			
テキスト	教科書は特に指定せず、必要に応じてプリントを配布します。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	植草学園大学	学部・学科名 ※	発達教育学部 発達支援教育学科
科目名 ※	障害インクルージョン論	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	月曜 3 限
キャンパス※	小倉キャンパス	教室※	さくらホール
学修分野	教養教育科目（基礎科目）		
授業目的 ※	人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し、高い道德心と倫理観をもって行動できる。 共生社会の実現を目指し、障害や困難性のある人を支援することができる。		
到達目標	1. 発達障害・知的障害のある子や人のコミュニケーションの特性はなにかを知る。 2. 虐待の実態や差別の取り組みを学ぶ。 3. 地域共生社会や障害者文化芸術の新しい潮流を知る。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 野澤 和弘 ガイダンス（授業計画の説明、講師の自己紹介）講義「君たちはどんな時代を生きていくのか、何を学ぶのか」（目標1） 第2回 前回のリアクションペーパーの紹介 頭を柔らかくする小テスト①（障害児の世界を知る）講義「障害者のリアルに迫る」（目標1） 第3回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ&A 頭を柔らかくするテスト②講義「障害者虐待」（目標2） 第4回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ&A 頭をやわらかくするテスト③講義「あなたは虐待する？」（目標2） 第5回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト④講義「虐待をしないためには何が必要か」（目標2） 第6回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑤講義「行動障害と身体拘束」（目標2） 第7回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑥講義「行動障害の改善」（目標2） 第8回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑦講義「利用者中心の支援」（目標1） 第9回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「障害者が登場する映画やドラマ」（目標3） 第10回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「警察プロジェクト」（目標3） 第11回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 障害者差別をなくすための千葉県条例～条例の成立過程と内容(目標2） 第12回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「発達障害と事件」（目標1，2） 第13回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「アール・ブリュット」（目標3） 第14回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「意思決定支援」（目標1） 第15回 地域共生型福祉と障害(目標3）		
評価方法 ※	期末レポート15%，授業ごとのリアクションペーパー70%，授業への取り組み15%，など。		

評価基準	1. 発達障害・知的障害のある子や人のコミュニケーションの特性を理解できたか。 2. 虐待の実態や差別解消の取り組みを理解できたか。 3. 地域共生、障害者文化芸術の新しい潮流を知ることができたか。
テキスト	教科書は用いない。必要な資料等を授業中に配布する。
注意事項	授業中の私語（おしゃべり）など周囲の迷惑になることは厳禁。おしゃべりする人は履修しないでください。 新型コロナウイルス状況などによりオンライン授業になる場合があります。 外部からゲスト講師を招いて「障害者のリアルに迫る」を何回か実施する場合は、授業内容が変更になります。
授業シラバス	https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	金融論入門B	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	月曜5限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	203
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	この講義では、社会における貨幣の役割について基本事項を理解し、金融の意義と課題について学びます。「金融論入門B」は、株式市場、債券市場、バブル経済や社会保険制度について学びます。金融業界は、デジタル通貨の登場によって大きな変化を遂げようとしています。こうした現状も踏まえ、未来の銀行やオルタナティブな金融取引についても触れながら講義を進めていく予定です。		
到達目標	①株式市場について理解する。 ②債券市場について理解する。 ③バブルの発生と崩壊について理解する。 ④社会保険制度について理解する		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イントロダクション：講義概要の説明 第2回 2つの金融システム 第3回 証券市場とは何か 第4回 株式市場①：株式会社とは何か 第5回 株式市場②：株価の決まり方 第6回 株式市場③：リスクとリスクヘッジ 第7回 債券市場①：債券とは何か 第8回 債券市場②：債券価格と利子率 第9回 債券市場③：社会貢献投資 第10回 バブル経済①：金融恐慌の原因 第11回 バブル経済②：金融恐慌の歴史 第12回 バブル経済③：リーマンショック 第13回 社会保険制度①：保険制度の基礎 第14回 社会保険制度②：医療保険の仕組み 第15回 社会保険制度②：年金保険の仕組み		
評価方法 ※	テスト（60%）、レポート（20%）、授業への取り組みの能動性（20%）を考慮して評価する。中間レポートは添削して返却するので、振り返りに利用してください。		
評価基準			
テキスト	指定なし。資料を配布して講義を進める。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&cdga=2		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策学部
科目名 ※	現代社会論	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜1限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	前期授業「社会学概論」で学んだ社会学理論を踏まえて、コミュニティを考えるうえで大切な要件である、戦後の日本社会の全体的な持続と変動を理解する力をもつことを目指す。		
到達目標	具体的な現象を抽象的な概念を用いて把握することと、抽象的な概念を具体的な現象にあてはめることの往復的思考ができる力を身につける。たとえば、日常生活のなかで目にすることのある「暴力」という現象を、複数の社会的概念で把握できるようになること。「権力」や「支配」といった概念であったり、あるいは「演技」という概念の適用も可能かもしれない。他方、「アノミー」「スティグマ」といった社会的概念をもって、日常生活の様々な現象を拾い上げるという方向での思考力をも身につけたい。		
授業内容 授業形態 ※	この授業は、前学期の「社会学概論」を受け継いで、現代社会について社会的に理解することをめざす内容である。主として日本の戦後から高度成長期以降の社会、さらには現在進行形の社会を総体として把握するための理論および現象を講義形式により講述することを目的とする。前学期に学習した古典的な社会学理論につづき、20世紀の社会学理論のいくつかを紹介するとともに、大衆社会論、産業社会論、管理社会論、情報社会論等を扱い、社会現象として犯罪・非行、自殺、地域社会の変化、若者文化、高度情報化、セクシュアリティ、人権問題等について、事例を示しながら社会的な分析を行う。 【遠隔授業】配信授業音声等に関して学生の質問や意見を求める。それら意見及び教員の見解を受講生全員で共有することで、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。		
評価方法 ※	事前事後学習と試験によって評価する。		
評価基準	レポート（事前事後学習）20点、試験80点。		
テキスト	ISBN：9784762016721, 「テキスト社会学」, 星野潔：杉浦郁子, 学文社, 2007年		
注意事項	事前事後学習を欠かさないこと。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	教育問題解説	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後期	曜日・時限 ※	火曜1限
キャンパス※	佐倉	教室※	PC1教室
学修分野			
授業目的 ※	深い子供理解と使命感を備えた保育者の育成を目指す。そして、保育者や教師としての基本的な素養を身に着け伸びしろのある専門職の人とする。		
到達目標	教育問題を発見する方法を示し、問題を共有できる授業を展開する。一方的でなく、課題を提示し学生たちに課題解決の議論に参加させる。与えられたものを解決するデスクワークに慣れ親しんだ学生たちに、自分の意見を持ち積極的に討論できる機会を多く持つようにする。ワークショップを取り入れた授業を展開する。そのことで、学生たちの問題解決力とコミュニケーション力が身に付ける。		
授業内容 授業形態 ※	教育問題は多くある。その中で焦点を絞って問題点を析出し、課題解決の方法を提示する。まず、教育問題を時代別に整理する。次にテーマ別に整理する。最後に教育問題は日本固有なのか、それとも世界共通のユニバーサルなものか検討する。 授業の前半は基礎的な教育問題を取り上げる。そのあと授業する学生たちに「自分が考える教育問題」を集め解説してもらい、そのあと議論を進める。毎回テーマを決めて議論をすすめる。意欲的に参加する姿勢を持った人の受講を希望する。		
評価方法 ※	レポートと定期テストを目安にする。		
評価基準	評価の比率はレポートが3割、定期テストが7割とする。		
テキスト	とくに指定しない。		
注意事項			
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部
科目名 ※	財政学	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	財政の理論、制度・仕組みを理解し、財政が抱える問題について考察する。		
到達目標	日本の財政の現状を把握し、その問題点を自分なりに解釈し、解決策を自発的に考えられるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	財政の理論、制度・仕組みについて解説し、財政が抱える問題やその解決について考察する。日本財政の現状を定量的な理解を促す。 【遠隔授業】配信授業資料に関して学生の質問や意見を求め、それらをフィードバックとともに後日共有し、アクティブラーニングを実践する。		
評価方法 ※	リアクションペーパー，課題レポート，授業内試験の成績で総合評価する。		
評価基準	リアクションペーパーおよびレポート：60点，授業内試験：40点		
テキスト	ISBN：9784502175312，「財政学」（ベーシック＋），山重慎二，中央経済社(発売：中央経済グループパブ)，2016年		
注意事項	「経済学概論A」または「経済学概論B」の単位を修得済みであることが望ましい。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部 コミュニティ政策学部
科目名 ※	労働法	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	15-201
学修分野			
授業目的 ※	労働法は「人生」に関わる法分野であるといってもよいでしょう。なぜなら、私たちの人生の大部分は職業生活であり、人が生きていく中で重要な部分を占めているからです。近時の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、私たちの雇用・労働は大きく変化し始めてきています。例えば、あなたが次のようなケースに遭遇した場合、どのように考えますか？「淑徳大学近くの居酒屋で働くあなたが、お客から生ビール中ジョッキ（生中）の注文を受け、ジョッキにビールを注ごうとしたところ、ビールサーバーを強くひっぱりすぎてしまい、壊してしまった。怒った店長はビールサーバーの修理にかかった費用10万円はあなたのバイト代から弁償してもらおうと言い張ってしまい、結局、あなたはその月のバイト代をもらうことができなかった。そんなあなたは下宿先の家賃も払えず、食事もろくに食べられなくなってしまった。」「店長に従わないとまた怒られてしまう・・・。」と思ったあなたを救済し、職業生活をよりよく過ごしていくために規律する法が労働法です。本講義では、将来、社会人として羽ばたく（羽ばたいている）皆さんがイメージしやすいよう、人が求職をしてから退職（あるいは何らかの理由で離職）するまでを各場面（シーン）ごとに構成しています。皆さんにとって「働く」ことに関する一連の流れが分かるので、皆さんの頭の中でシュミレーション（疑似体験）しながら、労働法の基礎知識(条文の適切な理解、判例の考え方)を習得してもらいます。		
到達目標	到達目標は、以下の通りです。第一に受講者が基本的な労働法の知識（条文の正確な理解、解釈、裁判例の趨勢等）を修得する。第二に実社会へ飛び立つ皆さんが遭遇するであろう（遭遇しないほうが良いのですが・・・）現実の労働トラブルを解決でき、また労働トラブルの発生を未然に予防する能力を修得する。		
授業内容	なぜ私たちは何らかの職に就いて働かなければならないのでしょうか。それは、人が生きていくに足りる収入を得なければ、生活することができないからだ、と多くの人々は考えていると思います。もっとも、新型コロナウイルス感染症に伴う失業率の高まりや、延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催の是非に関する情報を耳にすれば、収入に満足していないとしても、ギャンブルや株式投資等で大稼ぎしない限り、人は働かざるを得ない状況にあるともいえます。それでは、生活の糧になっている「収入」の源は、会社の経営者たる使用者にあり、そうなる絶対的に労働者よりも強いことになってしまいます。どんな業務命令でも使用者の言うことを聞かねばならないのでしょうか。生活のために収入を得るのであれば、何が何でも使用者の言うことを聞かなければならないのでしょうか。そうした問題を規整する法はいかなる役割を果たすべきなのでしょう。そもそも、会社は誰のものなのでしょう。本講義では、「労働」という事象にスポットを当てつつ、労働法の基礎知識の習得に留まらず、法規整の役割・あり方についても検討します。特に2019年4月より施行されている「働き方改革関連法」や新型コロナウイルス感染症によって働き方が変化していること（テレワークや在宅勤務の増加等）などを踏まえて講義を進めます。さらに、アクティブラーニングの一環として、受講生が職業安定所（ハローワーク）や労働基準監督署、労働局等に足を運び、フィールドワーク（資料収集、ヒアリング等）を行い、労働法をめぐる「実務」（現実）を知ってもらいます。なお、労働法を学ぶ前提として、特に私法（民法（契約法）等）の基礎知識は不可欠ですので、こうした知識のブラッシュアップも同時に行います。		

授業形態 ※	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて授業形態については変更があり得ますが、ケースメソッドや受講生間のディスカッション等を適宜行う予定です。なお、弁護士や社会保険労務士等のゲスト講師を招聘する場合があります。 【遠隔授業】配信授業動画等に関して学生の質問や意見を求め、そうした意見及び教員の見解を受講生全員で共有することにより、双方向型の演習(アクティブラーニング)とします。 【対面授業】基本的には学内での演習形式の授業を行います。その際はアクティブラーニングの手法を活用します。学生から質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設けます。いずれの授業形態によっても、上記の目標を達成するため、各講義において場面（シーン）を設定し、各回で取り上げるテーマについて、労使紛争の背景事情、問題の状況を的確に把握し、テーマ課題の基本的問題を中心にして講義スタイルにて授業を進めます。なお、受講者は、指定テキストの該当頁を熟読し、予習する必要がある、適宜、ミニレポート、疑問メモ等を作成してもらいます。また、適宜、ソクラテスメソッドや受講生同士のディスカッション等を行い、各受講生の法的思考力を向上させます。アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）として、フィールドワーク（判例検索をはじめとする資料収集、ヒアリング等）を実施した上で、各講義内容に関連して、「残業」「年休」「派遣切り」「ブラックバイト」等をテーマにして、Problem Based Learning（課題解決型学習）も行う予定です。なお、キャリア支援センター及び厚生労働省、千葉労働局、労働組合等の協力を得て、適宜、ゲスト講師との講義進行も行う予定です。 ■外部講師を招聘する授業回について※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当します。※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更となる可能性があります。
評価方法 ※	試験、レポート、小テスト、平常点(事前事後学習の実施状況、リアクションペーパーの提出、授業内での発言等)を総合的に考慮して評価します。試験については、論述式とし、本講義項目に関連するテーマを2問出題する予定です。レポートについては、受講生が関心を持っているテーマについて、2,500～5,000字以内で作成してもらいます（なお、レポート提出については、原則として電子メールによることにします）。
評価基準	労働法の制度・概念の正確な理解、要件・効果の的確な把握、推論のための基本的手法の修得ができていないかを評価基準とします。具体的な評価の配分としては、試験については50点、レポートについては20点、小テストについては20点、平常点（発言等）については10点とします。なお、平常点には各講義の出席率は考慮しません(いうまでもなく、単位認定の前提となります)。
テキスト	ISBN：9784324105269, 「よくわかる働き方改革：人事労務はこう変わる」, 日野勝吾：結城康博, ぎょうせい, 2018年
注意事項	法律学概論や債権法等、他の法律系科目を受講することが望ましい。
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策学部
科目名 ※	地域経済論	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	15-202
学修分野			
授業目的 ※	地域経済学・都市経済学の考え方を学び、地域で起きている問題に対して対応策を示すことができる。		
到達目標	地域で起きている問題について、授業で学んだ地域経済学のアプローチをもとに、対応策を考えられるようにする。授業内試験では上記の点について問う。		
授業内容 授業形態 ※	教科書に基づきながら、地域経済学・都市経済学の基本的な考え方を学ぶ。地域で起きている問題を解き明かし、対応策を考えられるようになることを目指す。その際にはアクティブラーニングの手法を用いる。学生の理解に応じて進捗は変わる。 【遠隔授業】 配信授業動画等に関して学生の質問や意見を求める。それら意見及び教員の見解を受講生全員で共有することで、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。配布プリントを元に政策評価の考え方を理解する。複雑な演算においては各自の電卓を利用する。各自、ノートを用意し、必要な内容を書き留めること。 【対面授業】 基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。一回目の授業で少人数のグループを作る。授業の中で設定する課題に対して、グループワークを行う。時には発表も求める。配布プリントを元に政策評価の考え方を理解する。複雑な演算においては各自の電卓を利用する。各自、ノートを用意し、必要な内容を書き留めること。		
評価方法 ※	レポート・発表、授業内試験により総合的に評価する。		
評価基準	レポート・発表（60点）、授業内試験（40点）により評価する。		
テキスト	ISBN：9784641150096, 「都市・地域経済学への招待状」（有斐閣ストゥディア），佐藤泰裕，有斐閣，2014年		
注意事項	予習・復習を欠かさないこと。試験規定に基づく。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	観光ビジネスⅡ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	402
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	観光ビジネスⅠで学んだ観光ビジネスの理解を踏まえて、観光ビジネス関連の人材として必要なコミュニケーション能力やおもてなしマインドなどを学び、観光ビジネスだけでなく社会人として役に立つ人間力を高めることを目指します。 担当教員が観光振興や国際会議の誘致などの実務経験に基づいて、インバウンドの事例紹介を行いますので、観光ビジネスにかかわる人材として求められるスキルなどの理解が深まります。 訪日外国人客から評判の良い老舗料亭の若女将による「おもてなし英会話」など、観光ビジネスに従事しているゲストスピーカーの講義も行う予定です。		
到達目標	①インバウンドの取り組み事例を研究することで、インバウンドの効果を理解する。 ②観光関連人材として必要なおもてなしマインドを高めることで、コミュニケーション能力の向上を図る。		
授業内容 授業形態 ※	以下の内容で進める予定です。 第1回 インバウンド研究（1） 第2回 インバウンド研究（2） 第3回 日帰り旅行企画（1） 第4回 日帰り旅行企画（2） 第5回 日帰り旅行企画（3） 第6回 おもてなし英会話（1） 第7回 おもてなし英会話（2） 第8回 おもてなし英会話（3） 第9回 おもてなし英会話（4） 第10回 おもてなし英会話（5） 第11回 文化と観光（1） 第12回 文化と観光（2） 第13回 文化と観光（3） 第14回 文化と観光（4） 第15回 まとめ		
評価方法 ※	レポート（40％）、実習（30％）、授業への取り組み能動性（30％）を総合的に評価します。 授業中に実施した小テストはその都度採点して返却するので、振り返りに利用してください。 提出したレポートについては授業で説明しますので、振り返りの参考にしてください。		
評価基準			
テキスト	指定なし。 毎授業時に資料プリントを配布します。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&cdga=2		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	ゲーム理論	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	未定
学修分野			
授業目的 ※	ゲーム理論とは個人や企業、または国家などの意思決定する主体がお互いに意思決定するときの相互作用を分析するための理論である。 たとえば、ある経済主体が意思決定をするとき、その意思決定の影響は自身だけではとどまらない。他の経済主体に影響を与え、それがさらに自分の意思決定の結果にも影響をおよぼすことになる。このとき最適な行動を選択するためには、自身のみではなく他の経済主体の行動も考慮した上で選択する必要がある。そしてさらに他の経済主体も同様に行動するとき、はたしてそれらの相互作用の結果はどのようなものとなるのか。 このような現実における利害対立や協調などの意思決定の場面を「ゲーム」とみなし、それを分析するための科学がゲーム理論である。 なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、とくに【経済学に関する専門知識や思考力、学習目標1】に資する科目である。		
到達目標	・ゲーム理論は経済学以外にも様々な学問分野で用いられているため、ゲーム理論の基礎を理解し、他の分野での理解にも対応できるようになること。 ・現実社会における様々な場面において、戦略的思考方法としてゲーム理論の考え方をを用いることができるようになること。		
授業内容 授業形態 ※	参考書をベースに、以下のトピックを扱う。 第1回 ゲーム理論とは何か 第2回 戦略形ゲームの基礎1：利得行列 第3回 戦略形ゲームの基礎2：ナッシュ均衡 第4回 完全情報の展開ゲーム1：展開形ゲーム 第5回 完全情報の展開ゲーム2：完全情報展開形ゲームの応用 第6回 完全情報の展開ゲーム3：ゲーム理論の実践 第7回 戦略形ゲームの応用1：支配戦略 第8回 戦略形ゲームの応用2：オークション 第9回 不完全競争市場への応用1：独占市場 第10回 不完全競争市場への応用2：クールノー競争 第11回 不完全競争市場への応用3：ベルトラン競争 第12回 不完全競争市場への応用4：シュタッケルベルク競争 第13回 混合戦略1：混合戦略とナッシュ均衡 第14回 混合戦略2：混合戦略の求め方 第15回 混合戦略3：ミニマックス定理		
評価方法 ※	複数回の課題（40％）、テスト（60％）の加重平均にて評価する。 課題については返却後に解説等のフィードバックを行う。		
評価基準			
テキスト	指定なし。基本的に講義スライドを使用する。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	財務会計論Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜3限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	未定
学修分野			
授業目的 ※	財務会計論Ⅰ・Ⅱでは、主に日商簿記検定2級レベル（商業簿記Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）で学習する主要論点を取り上げ、その基本的な考え方（会計理論）を学んだ上で、具体的な会計処理方法の計算構造を理解することを目指します。 とくに財務会計論Ⅱでは、企業結合会計、連結会計、税効果会計など各種取引に係る会計基準のほかに、財務諸表の表示内容を学習します。 なお、この科目は、卒業認定・学位授与方針のうち、特に経営学に関する専門知識や技能（学修目標1）に資する科目です。		
到達目標	財務会計論Ⅰ・Ⅱは、主に日商簿記検定2級レベル（商業簿記Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）の論点を理論的に理解することを目指します。 具体的に言えば、ある取引を貨幣的数値で表現するにあたり「なぜ」この方法が採用されているのか、または、数ある代替処理方法のなかで「なぜ」この方法が用いられているのか、を論理立てて説明できるようになることを目標とします。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 外貨建取引会計 第2回 純資産に関する会計 第3回 貸借対照表 評価基準 第4回 損益計算書（1）収益認識基準 第5回 損益計算書（2）費用認識基準 第6回 財務諸表作成 第7回 中間試験 および 企業結合会計 第8回 連結会計（1）背景および概要 第9回 連結会計（2）資本連結 第10回 連結会計（3）成果連結 第11回 連結会計（4）連結貸借対照表と連結損益計算書の作成 第12回 税効果会計（1）背景および概要 第13回 税効果会計（2）一時差異 第14回 税効果会計（3）繰延税金資産および繰延税金負債 第15回 税効果会計（4）資産の期末評価、固定資産等の償却、引当金		
評価方法 ※	平常点（確認テスト、中間試験）40％、期末試験60％ なお、確認テストについては、授業内で解説します。		
評価基準			
テキスト	レジュメ（授業内容および計算問題）を配布します。配布にあたりTeamsを利用する場合があります。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	日本経済論Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜3限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	現在の日本経済は深刻な財政赤字を抱えながら、人口減少と少子高齢化、企業の国際競争の進展、雇用環境の急激な変化など様々な課題に直面している。 本講義では、日本経済における重要なテーマを経済学的視点から概観する。このうち、日本経済論Ⅱでは、日本経済の現状と課題について、企業活動・雇用・社会保障・財政政策・金融政策・貿易・農業・環境・ブロックチェーンと暗号通貨に関するテーマを取り上げる。講義では、履修者の理解を深めるためにメディアで注目される最新の経済トピックも紹介する。 教員は、2012年～2017年（独）国際協力機構（JICA）の研究部門に勤務経歴あり。国際協力の実務経験に基づいて、日本を含むアジアを中心としたグローバル経済について専門的な知識と経験を交えた講義を展開する。 なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に経済学の専門知識、思考力・判断力および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に資する科目である。		
到達目標	基礎的な経済理論の分析ツールを用いて、日本経済の現状と主要な経済課題を理解する。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 ガイダンス（授業の目的・内容・教科書・評価方法など） 第2回 企業活動：景気と経済成長、産業構造の変化、グローバル化とIT化への対応 第3回 労働：日本的雇用システム、若年層・女性・高齢者の雇用問題 第4回 社会保障（1）保険制度の問題点（情報の非対称性、逆選択、リスク選択） 第5回 社会保障（2）社会保障と税の一体改革 第6回 社会保障（3）公的年金と医療保険が直面する問題 第7回 財政・財政政策（1）地方自治体の財政破綻（夕張市の事例） 第8回 財政・財政政策（2）均衡国民所得、財政政策の効果 第9回 財政・財政政策（3）財政健全化、コロナショックへの経済対策 第10回 金融・金融政策（1）短期と長期のフィリップス曲線 第11回 金融・金融政策（2）貯蓄から投資へ、老後2000万円問題、金融教育 第12回 貿易：貿易構造と貿易システム 第13回 農業：グローバル化と農政改革 第14回 環境：本格的な経済的手段の検討の時代へ 第15回 ブロックチェーンと暗号通貨		
評価基準			
テキスト	浅子和美・飯塚信夫・篠原総一編 2020『入門日本経済（第6版）』（有斐閣） 八代尚宏 2017『働き方改革の経済学－少子高齢化社会の人事管理』（日本評論社）		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部
科目名 ※	国際関係と外交課題 B	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜4限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	現在の国際関係の在り方を様々な現象や事例を通して理解する。また現代日本の外交課題・国際課題を理解する。その際、国際政治の歴史や国際関係理論を手がかりにする。国際関係論や国際政治を専門的に学ぶ上での基礎知識を取得することができる。		
到達目標	現在の国際社会やその問題に興味関心をもてるようになるとともに歴史、理論の視点からそれらを考えられるようになる。現代日本の国際的課題への取り組みに対して情報を適切に理解できるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	「平和」というテーマから現代の国際関係の在り方を学ぶ。そして現状を理解するために背景となっている国際政治史・国際関係理論・を概説する。また日本の外交課題を考察するために、日米関係、日本と東アジアを事例として取り上げる。 【遠隔授業】オンデマンド講義形式を中心におこなう。授業の双方向性を実現するため、そして理解度・習熟度を見るために課題・リアクションペーパー、参考文献の学習の提出が求められる。それをもとに講評を実施し、理解の共有をはかる。		
評価方法 ※	課題・リアクションペーパー、参考文献の学習、そして最終テストより授業内容への理解度・習熟度を判断する。		
評価基準	課題・リアクションペーパー40点、参考文献の学習10点、最終テスト50点 合計100点		
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。		
注意事項	授業への積極的な参加が望まれる。予習、リアクションペーパーの作成を通じて、講義で学んだこと、考えたこと、自分との関係を積極的に考えること・記述することが望ま		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	自然科学への招待 B	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜4限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	401
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のベースステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	「地球・太陽系・星・銀河・宇宙・・・（マクロの世界）」 前期の「自然科学への招待A」に引き続き、理科（物理・化学・地学）的な眼で自然界を見ます。「自然科学への招待B」では特に、地球・月・太陽系・星・銀河・宇宙といった「大きな（マクロ）世界」に目を向けていきます。スライドや動画を使って、できるだけわかりやすく概念を伝えるような説明を行うつもりです。また毎月の星座や天文現象なども紹介します。 マクロな世界について理解するには、ミクロな世界の知識が必要です。この科目を履修するために「自然科学への招待A」の履修を前提とはしませんが、できれば履修しておくことより理解が深まるでしょう。		
到達目標	① 社会人として知っておくべき理科の知識と教養を身につける。 ② 身近なものごと・現象の理学的理解ができるようになる。 ③ 公務員試験「自然科学」分野の準備となる。		
授業内容 授業形態 ※	以下の内容で進める予定です。 （履修者の状況により適宜変更する可能性もあります。） 第1回 自然界のスケール 第2回 いろいろな星 第3回 太陽系の動き 第4回 星座 第5回 地球の形と運動 第6回 地球の内部 第7回 プレートテクトニクス 第8回 月 第9回 太陽系（1） 第10回 太陽系（2） 第11回 太陽系（3） 第12回 太陽 第13回 銀河系 第14回 星の一生と元素の生成 第15回 宇宙の歴史		
評価方法 ※	授業への取り組みの能動性（30%）、期末試験（70%）により総合的に評価する予定です。 毎授業時に記入してもらう質問票をもとに、次回の授業時に追加説明を行います。授業でいまいだった点の確認に役立ててください。		
評価基準			
テキスト	指定なし。 毎授業時に資料プリントを配布します。		
注意事項			
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&cdga=2		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策学部
科目名 ※	スポーツマネジメント	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 後学期	曜日・時限 ※	火曜5限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	本授業の目的は、スポーツの歴史を理解し、これからのスポーツの在り方について考察をすることで、スポーツマネジメントに関する知識や考え方を習得することである。		
到達目標	①スポーツの本来の意義、スポーツの在り方について、自分自身の意見を持ち、論理的に、他者に説明することができる。 ②スポーツマネジメントに関する基本的な知識を理解しており、論理的に、他者に説明することができる。		
授業内容 授業形態 ※	本講義では、スポーツが持っている問題点と良さを学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。単純化されたスポーツ、勝つか負けるか、勝者が敗者かのメカニズムではなく、スポーツが持つ本来の意義やスポーツの在り方を問い直し、その文脈の中で、スポーツに関わるクラブやチーム、またはスポーツ活動そのものをどのようにマネジメントしていくべきか、という点について検討していきたいと思います。 その上で、講師が、これまで国内外のプロスポーツクラブに携わってきた経験をお伝えしたいと思います。 【遠隔授業】 講義の冒頭で、授業の解説動画を視聴する。その後、授業内で出された課題に取り組み、提出する。なお、ICTを活用して、受講生間での意見交換やグループ討議などのアクティブラーニングの機会を設ける。 【対面授業】 講義では、まず学生相互で事前学習の成果を共有する。次に、該当回の講義内容を60分程度、解説する。残りの20分程度で、授業内容について学生相互で振り返りを行う。		
評価方法 ※	事前事後学習の成果、レポートの成果、授業内で行う確認テストで総合評価する。		
評価基準	事前事後学習を含む毎回の課題の成果：30点、中間レポート：30点、最終レポート（もしくは確認テスト）：40点 S:100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60点未満		
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。		
注意事項	特になし		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		